

北里大学病院 臨床検査基準値一覧

北里大学病院 臨床研究推進センター Ver. 13 2025年6月17日作成

臨床検査部：2025年4月17日改定版 準拠

作成責任者： 石倉 健司

項 目 名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保 存	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
【血算・凝固線溶】												
血算一式(末梢血液一般検査)					EDTA全血	A管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混和
WBC(白血球)	3.3-8.6	× 10 ³ /μL	有	半導体を用いたフローサイトメトリー法								
RBC(赤血球)	M: 4.35-5.55 F: 3.86-4.92	× 10 ⁶ /μL	有	シーフローDC検出法								
Hb(血色素量)	M: 13.7-16.8 F: 11.6-14.8	g/dL	有	SLSヘモグロビン法 (Sodium Lauryl Sulfate)								
Hct(ヘマトクリット)	M: 40.7-50.1 F: 35.1-44.4	%	有	シーフローDC検出法								
MCV	83.6-98.2	fL	有	計算式による								
MCH	27.5-33.2	pg	有	計算式による								
MCHC	31.7-35.3	g/dL	有	計算式による								
RDW-CV	11.6-14.0	%		シーフローDC検出法								
血小板	15.8-34.8	× 10 ⁴ /μL	有	シーフローDC検出法								
白血球分類(5DIFF)				半導体を用いたフローサイトメトリー法								
Neutrophil (NEUT)	50.0-70.0	%										
Eosinophil (EOSINO)	2.0-5.0	%										
Lymphocyte (LYMPH)	20.0-40.0	%										
Monocyte (MONO)	3.0-6.0	%										
Basophil (BASO)	0.2-1.0	%										
好中球数	設定なし	/μL	有									
総リンパ球数	設定なし	/μL	有									
網赤血球数	M: 3.48-12.21 F: 3.09-10.82	× 10 ⁴ /μL		半導体を用いたフローサイトメトリー法	EDTA全血	A管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混和
網赤血球(%)	0.8-2.2	%		半導体を用いたフローサイトメトリー法	EDTA全血	A管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混和
臍帯血セット(血算・分類)	設定なし				臍帯血	A管	不可	2	2	当日中		採血後すぐ混和
PT(血漿プロトロンビン時間)	11.0-14.0	sec	有	散乱光度法(凝固時間法)	Ca ²⁺ 酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和
PT-%	80-120	%										採血後すぐ混和
PT-INR	設定なし											採血後すぐ混和
APTT (活性部分トロンボプラスチン時間)	24.0-39.0	sec	有	散乱光度法(凝固時間法)	Ca ²⁺ 酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和
FIB(Fibrinogen)	200-400	mg/dL	有	散乱光度法(凝固時間法)	Ca ²⁺ 酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和
可溶性フィブリン(SF)	7.0未満	μg/mL		ラテックス免疫比濁法	Ca ²⁺ 酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和
プラスミン・α 2PI複合体(PIC)	0.8未満	μg/mL		ラテックス免疫比濁法	Ca ²⁺ 酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和
ATⅢ	80-130	%		吸光度法(合成基質法)	Ca ²⁺ 酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和
FDP (フィブリン・フィブリノゲン分解産物定量)	5.0未満	μg/mL	有	ラテックス免疫比濁法	Ca ²⁺ 酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和
Dダイマー	1.0以下	μg/mL	有	ラテックス免疫比濁法	Ca ²⁺ 酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和
クロスミキシング試験 (凝固因子インヒビター定性)	設定なし			散乱光度法	Ca ²⁺ 酸血漿	B管	不可	1.8	1.8	当日中	×	採血後すぐ混和
IPF(Immature Platelet,Fractionr,レチプレート)	0.9-6.7	%		半導体を用いたフローサイトメトリー法	EDTA全血	A管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混和
ED27血小板数 (ED27-PLT)	15.8-34.8	× 10 ⁴ /μL		シーフローDC検出法	EDTA全血	ED27管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混和
目視血小板数(PLT-EYE)	15.8-34.8	× 10 ⁴ /μl		目視法	EDTA全血	A管	不可	2	2	60分	×	採血後すぐ混和
破碎赤血球%(FRA)	0-0.5	%		目視法	EDTA全血	A管	不可	2	2	当日中	×	採血後すぐ混和
血中寄生虫検査(マラリア)	(-)			目視法	EDTA全血	A管	不可	2	2	当日中	×	採血後すぐ混和

項 目 名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保 存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
白血球目視分類(末梢血液像)												
Myeloblast (MYEL-B)	0	%		目視法	EDTA全血	A管	不可	2	2	当日中	×	採血後すぐ混和
Promyelocyte (PRO-M)	0											
Myelocyte (MYELO)	0											
Metamyelocyte (MET-M)	0											
Band form (STAB)	2.0-13.0											
Segment form (SEGMNT)	50.0-70.0											
Eosinophil (EOSINO)	2.0-5.0											
Lymphocyte (LYNP)	20.0-40.0											
Monocyte (MONO)	3.0-6.0											
Basophil (BASO)	0.2-1.0											
A-LYMP	0											
EBL(赤芽球)	0	/100WBC							当日中 当日中			
出血時間(Duke法、Bleeding Time)	1.0 - 5.0	min		Duke法	耳朶血					15分	×	患者が中央採血室に 来室(ストレッチャー出張)
赤沈(ESR)	M:2-10	mm/H	有	キャピラリーフォトメトリー 法	EDTA全血	赤沈管	不可	2	2	18分		採血後すぐ混和 採血量厳守 2023年5月25日より方法・採血管変更
	F:3-15											
末梢血 NAP(好中球アルカリフォスファターゼ)												
NAP-SCOR	M:170-335			朝長法	末梢血	耳朶血	不可	適宜	適宜	2日	×	患者が中央採血室に 来室(ストレッチャー出張)
	F:189-367											
NAP-RATE	M:61.0-100.0	%										
	F:68.0-100.0											
末梢血 Peroxidase	設定なし			ジアミノベンジン法(DAB法)	EDTA全血	A管				2〜3日	×	
末梢血 Esterase	設定なし			αナフチルブチレート-ASD クロロアセテート 2重染色法	EDTA全血	A管				2〜3日	×	
骨髓像												
骨髓 Peroxidase	別紙報告			ジアミノベンジン法(DAB法)	骨髓液	A管	不可	0.3	2	5〜7日	×	骨髓像検査依頼書提出
骨髓 PAS	別紙報告			Periodic-Acid Shift反応 (過ヨウ素酸シッフ反応)								
骨髓 鉄	別紙報告			ベルリン青法								
骨髓 Esterase	別紙報告			αナフチルブチレート-ASD クロロアセテート 2重染色法						2〜3日		
血小板粘着能(Platelet Adherence) コラーゲン法	30-70	%		コラーゲンカラム法 Savzman法	EDTA血:前 EDTA血:後	A管	不可	前後各2.0	前後各2.0	30分	×	要予約 ☎8524 食待ち検査室採血
血小板凝集能(Platelet Aggligation) ADP他	ADP 1.0μM >50 2.5μM >60 5.0μM >70	%		光電光度計による 比濁法(Born法)	ケン酸血漿	B管 3本	不可	各1.8	5.4	当日中	×	要予約 ☎8524 食待ち検査室採血
【穿刺液】												
髄液蛋白	10-40	mg/dL			滅菌スリット	滅菌スリット	凍結	0.2	1	60分		
髄液糖	50-75	mg/dL						0.2				
髄液細胞数	0-5	コ/μℓ						0.5				
髄液 P:M比	設定なし							0.5				
IgG[髄液]	0-4	mg/dL		TIA法	髄液	滅菌スリット	凍結	0.5	5	45分		
【生化学・免疫】												
グリコヘモグロビン(HbA1c)	4.6-6.2(NGSP)	%		酵素法	G管血球	G管	冷蔵	0.5	2	40分		追加は当日まで
血糖	73-109	mg/dL		HK-G6PDH 法	G管血漿	G管	冷蔵	0.5	2	40分		追加は1時間以内
血糖(血清)	73-109	mg/dL		HK-G6PDH 法	血清	C黄管	凍結	0.5	2	40分		採血後速やかに提出
グリコアルブミン(GA)	11.0-16.0	%		酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	3	40分		
総蛋白(T.P)	6.6-8.1	g/dL	有	ビウレット法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
アルブミン(Alb)	4.1-5.1	g/dL	有	改良BCP 法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
総ビリルビン (T-Bil)	0.4-1.5	mg/dL	有	パナジン酸酸化法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
直接ビリルビン(D-BIL)	0.0 -0.3	mg/dL		パナジン酸酸化法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
尿素窒素(UN)	8.0-20.0	mg/dL	有	イソクエン酸脱水素酵素 (ICDH) によるアンモニア消去法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		

項 目 名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
クレアチニン(CRE)	M 0.65-1.07	mg/dL	有	酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F 0.46-0.79	mg/dL										
eGFR	60以上	ml/min/1.73m ²		日本腎臓病学会(2008) 日本小児腎臓病学会(2019) の計算式による								年齢、性別、身長、 CRE値より計算
尿酸(UA)	M:3.7-7.0	mg/dL	有	ウリカーゼ POD 法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F:2.6-7.0	mg/dL										
AST(GOT)	13-30	U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		溶血にて上昇
ALT(GPT)	M:10-42	U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F:7-23											
アルカリフォスファターゼ(ALP)	38-113	U/L	有	IFCC法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2020年4月1日より IFCC法
γ-GTP	M 13-64	U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F 9-32	U/L										
血清コリンエステラーゼ(S-CHE)	M:240-486	U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F:201-421											
LD(LDH乳酸脱水素酵素)	124-222	U/L	有	IFCC法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		溶血にて上昇 2020年4月1日より IFCC法
CK (CPKクレアチンフォスファキナーゼ)	M 59-248	U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F 41-153	U/L										
アミラーゼ(AMYLASE)	44-132	U/L		JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
胰型アミラーゼ(P-AMY)	15-50	U/L		JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2023年8月8日より院内導入
リパーゼ(Lip)	16-55	U/L		酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
総胆汁酸(TBA)	<10.0	μmol/l		酵素サイクリング法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
LAP	30-70	U/L		L-ロイシル-P-ニトロアニリド基 質法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
CRP定量	0.14以下	mg/dL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2020年4月1日より高 感度
総コレステロール(T-Cho)	142-248	mg/dL	有	COD-POD 酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
中性脂肪(TG、トリグリセリド)	M:40-149	mg/dL	有	FG消去酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		空腹時が望ましい
	F:30-149											
HDLコレステロール(HDL-C)	M 40-90	mg/dL		選択的抑制法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F 40-103	mg/dL										
LDLコレステロール(LDL-C)	65-139	mg/dL		選択的可溶化法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
Na(ナトリウム)	138-145	mmol/L	有	電極法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
K(カリウム)	3.6-4.8	mmol/L	有	電極法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
CL(クロール)	101-108	mmol/L	有	電極法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
CA(Ca,カルシウム)	8.8-10.1	mg/dL	有	MXB法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
IP(P,無機リン)	2.7-4.6	mg/dL	有	酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
FE(血清鉄)	40-188	μg/dL		パソフェナントロリン 直接法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
		μg/dL										
TIBC	M 250 - 380	μg/dL		パソフェナントロリン 直接法(計算法)	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F 250 - 450	μg/dL										
UIBC	191-269	μg/dL		パソフェナントロリン 直接法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
Mg(マグネシウム)	1.8-2.4	mg/dL		酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
CK-MB	≤12.0	U/L		免疫阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
トロポニンT	0.000-0.014	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		溶血にて低下 追加は当日まで
ミオグロビン	M:0.0-97.0	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F:0.0-74.0											
NT-Pro BNP	55以下	pg/ml		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	3	40分		2020年10月9日より院内導入
乳酸	4.0-16.0	mg/dL		酵素法	FH血漿	FH管	凍結	0.5	2	40分		
アンモニア	12-66	μg/dL		酵素法	ヘパリン血漿	H管	不可	0.5	2	40分		氷冷直出。 溶血にて上昇
重炭酸塩	M: 22.5-26.9 F: 21.8-26.2	mmol/L		酵素法	血清	C黄管	不可	0.5	5	40分		採血量3mL以上を推奨 (少ないと負誤差)

項 目 名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
動脈血ケトン体比(AKBR)	0.7以上			酵素サイクリング法	ヘパリン血漿	H管	不可	0.5	2	40分		氷冷直出
アセト酢酸	70以下	μmol/L		酵素サイクリング法								
3-ヒドロキシ酪酸	80以下	μmol/L		酵素サイクリング法								
ケトン体分画	設定なし	μmol/L		酵素サイクリング法	血清	C黄管	凍結	0.5	2	40分		
アセト酢酸	14-68	μmol/L		酵素サイクリング法								
3-ヒドロキシ酪酸	74以下	μmol/L		酵素サイクリング法								
浸透圧(OSMO)	282-297	mOsm/kg・H ₂ O		氷点降下法	血清	C黄管	凍結	0.5	3	60分		
A/G 比	1.32-2.23			計算法 ALB/(TP-ALB)	血清	C黄管	凍結	0.5		40分		治験のみオーダー
プレアルブミン	22.0-40.0	mg/dl		TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
レチノール結合蛋白(RBP)	1.7-5.6	mg/dl		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
亜鉛(Zn)	80-130	μg/dl		直接法(キレート比色法)	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		速やかに分離凍結 早朝空腹時採血が望ましい
RF(リウマトイド因子)	0-15	IU/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
KL-6(シアリル糖鎖抗原)	<500	U/ml		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
SP-D(サーファクタント蛋白D)	109.8以下	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2024年6月28日より院内導入
MMP-3 (マトリックスメタロプロティナーゼ3)	M: 35.2-123.8 F: 16.1-56.8	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
インスリン	1.15-12.15	μIU/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		溶血不可、 追加は当日まで
TSH(甲状腺刺激ホルモン)	0.50-5.00	μIU/mL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		
FT3(遊離トリヨドサイロニン)	2.30-4.00	pg/mL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		
FT4(遊離サイロキシン)	0.90-1.70	ng/dL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		
TRAb(TSH抗レセプター抗体)	<2.00	IU/L		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		溶血不可、低値 追加は3日まで
HCG (ヒト胎盤絨毛性ゴナドトロピン)	M:0-2 F:0-3	mIU/mL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は3日まで
エストラジオール(E2)	M:14.6-48.8 F: 卵胞期 28.8-196.8 排卵期 36.4-525.9 黄体期 44.1-491.9 閉経後 47.0以下 妊娠女性 初期 208.5-4289 中期 2808-28700 後期 9875-31800	pg/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日まで
黄体形成ホルモン(LH)	M: 1.7-8.6 F: 卵胞期 2.4-12.6 排卵期 14.0-95.6 黄体期 1.0-11.4 閉経期 7.7-58.5	mIU/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2022年1月20日より院内導入
卵胞刺激ホルモン(FSH)	M: 1.5-12.4 F: 卵胞期 3.5-12.5 排卵期 4.7-21.5 黄体期 1.7-7.7 閉経期 25.8-134.8	mIU/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2022年1月20日より院内導入
プロゲステロン	M: 0.2以下 F: 卵胞期 0.3以下 排卵期 5.7以下 黄体期 2.1-24.2 閉経期 0.3以下 妊娠女性 初期 12.0-51.8 中期 24.3-82.0 後期 63.5-174.4	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は5日以内 2022年1月20日より院内導入
プロラクチン(PRL)	M: 4.29-13.69 F: 閉経前 4.91-29.32 閉経後 3.12-15.39	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2022年1月20日より院内導入
コルチゾール	6-10時 7.07-19.60 16-20時 2.96-9.77	μg/dL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は4日以内
ACTH(副腎皮質刺激ホルモン)	7-10時 7.2~63.3	pg/mL		ECLIA法	血漿	A管氷冷	凍結	0.5	2	40分		EDTA過剰で偽低値 採血量厳守、 溶血不可、氷冷提出 追加不可
副甲状腺ホルモン(PTH-インタクト)	10-65	pg/mL		ECLIA法	血漿	EDTA管	凍結	0.5	2	40分		氷冷提出、追加不可 溶血不可

項 目 名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保 存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
サイログロブリン(Tg)	33.70以下	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は3日まで
抗サイログロブリン抗体(抗TgAb)	28未満	IU/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は3日まで
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体)	16未満	IU/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は3日まで
プロカルシトニン【血液】	参考基準値: 0.046 細菌性敗血症診断 カットオフ値 <0.5:重症敗血症 リスク低い ≥2.0:重症敗血症 リスク高い	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日まで
IgG	861-1747	mg/dL	有	TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
IgA	93-393	mg/dL	有	TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
IgM	M:33-183	mg/dL	有	TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F:50-269											
IgG4	11.0-121.0	mg/dL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2024年6月28日より院内 導入
フェリチン(FERRITIN)	M 13 -277	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F 5 - 152											
C3(β 1C/β 1Aグロブリン)	73-138	mg/dL		TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
C4(β 1Eグロブリン)	11-31	mg/dL		TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
CH50(血清補体価)	25-45	U/ml		補体溶血法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		追加検査不可
可溶性インターロイキン2レセプター	122-496	U/ml		ラテックス免疫比濁法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2018年3月30日より院内 導入
CEA(癌胎児性抗原)	0.0 - 5.0	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2017年10月10日より 方法変更
AFP(α-フェトプロテイン)	0-10	ng/mL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2017年10月10日より 方法変更
CA19-9	0-37	U/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2017年10月10日より 方法変更
CA125	0-35	U/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2017年10月10日より 方法変更
CA15-3	0-25	U/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2017年10月10日より 方法変更
CA72-4	0.0-6.9	U/ml		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		
PSA(前立腺特異抗原)	0.00-4.00	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日まで 2017年10月10日より 方法変更
PIVKA II	0-39	mAU/mL		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		
TPLA(梅毒検査)	(-) : 0-9	U/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		残検体での検査不可
	(+-) : 10-19	U/mL										
	(+) : ≥20	U/mL										
RPR(梅毒検査)	(-) : 0.0-0.9	R.U.		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		残検体での検査不可
	(+-) : 1.0-2.9	R.U.										
	(+) : ≥3.0	R.U.										
HBs-抗原定量 (B型肝炎ウイルス表面抗原)	(-) : 0.005未満	IU/mL		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		残検体での検査不可 2020年4月1日より試 薬変更
	(+) : 0.005以上	IU/mL										
HBs-抗体(B型肝炎ウイルス表面抗体)	0-9	mIU/mL		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		残検体での検査不可
HCV抗体-Ⅲ(C型肝炎ウイルス)抗体	(-) 0-0.9	C.O.I.		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		残検体での検査不可
	(判定保留) 1.0-1.9	C.O.I.										
HBc-抗体(B型肝炎ウイルスコア抗体)	(-) 0-0.7	C.O.I.		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		残検体での検査不可
	(判定保留) 0.8-1.1	C.O.I.										
HIV抗原抗体(CLEIA法)	(-) 0-0.9	C.O.I.		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		残検体での検査不可
術前HIV抗原抗体(CLEIA法)病院負担	(-) 0-0.9	C.O.I.		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		残検体での検査不可
SARS-CoV-2抗原定量	(-) <1.00	pg/mL		CLEIA法	鼻咽頭ぬぐい	鼻腔用スワブ	冷蔵	適宜	適宜	80分		
術中腓アミラーゼ	設定なし	U/L		JSCO標準化対応法	腓液	滅菌ビュッ	凍結	0.5	5	60分		50A伝票と一緒に提出
腹水溶血チェック	設定なし			比色法	腹水	C黄	凍結	0.5	5	45分		

項 目 名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保 存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
【血液ガス】												
動脈血ガス					ヘパリン血液 (動脈血)	ヘパリンシリンジ	不可	2.5	2.5	5分		採血後気泡除去し 直ちに提出
pH	7.350 - 7.450		電極法									
pCO2	35.0-45.0	mmHg										
pO2	80.0以上	mmHg										
重炭酸イオン	21.0-27.0	mmol/L										
BE	-2.3 - +2.3	mmol/L	計算式による									
酸素飽和度	95以上	%										
Caイオン	1.15-1.35	mmol/L	電極法									
酸化化Hb	94.0-97.0	%										
還元Hb	0.0-5.0	%										
カルボキシHb	0.0-1.5	%										
メトHb	0.0-1.5	%										
末梢静脈血					ヘパリン血液 (末梢静脈血)	ヘパリンシリンジ	不可	2.5	2.5			採血後気泡除去し 直ちに提出
中心静脈血					ヘパリン血液 (中心静脈血)	ヘパリンシリンジ	不可	2.5	2.5			採血後気泡除去し 直ちに提出
混合静脈血					ヘパリン血液 (混合静脈血)	ヘパリンシリンジ	不可	2.5	2.5			採血後気泡除去し 直ちに提出
【尿化学】												
CCR(30分3回法)外来予約用	70-130 年齢により異なる	mL/min		30分3回計算法	血清 尿×3	C黄管 U1管×3	冷蔵 (凍結可)	0.5 0.5 ×3	5	45分		
CCR(30分3回法)病棟様										45分		
24時間CCR	69.0-175.0	l/day		24時間1回計算法	血清 尿	C黄管 U1管	冷蔵(凍結可)	0.5 0.5	5	45分		
尿中蛋白定量	設定なし	mg/dL		ピロガロールレッド法	任意尿、蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
尿中糖定量	設定なし	g/dL		HK-G6PDH 法	任意尿、蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
尿素窒素(UN)	設定なし	mg/dL		ウレアーゼUV 法	任意尿、蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
クレアチニン(CREATININIE)	設定なし	mg/dL		酵素法	任意尿、蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
尿酸(U.A)	設定なし	mg/dL		ウリカーゼ POD 法	任意尿、蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
OSMO(浸透圧)	参考基準範囲 (590-1010)	mOsm/kg.H2O		氷点降下法	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	60分		
Na(ナトリウム)	設定なし	mmol/L		電極法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
K(カリウム)	設定なし	mmol/L		電極法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
CL(クロール)	設定なし	mmol/L		電極法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
CA(Ca,カルシウム)	設定なし	mg/dL		MXB法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
IP(P、無機リン)	設定なし	mg/dL		酵素法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
Mg(マグネシウム)	設定なし	mg/dL		酵素法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
尿中微量アルブミン	設定なし	mg/L		TIA法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
尿中微量アルブミン	0.0-16.0	mg/g・Crea		TIA法	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
アミラーゼ(AMYLASE)	設定なし	U/L		JSCC標準化対応法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
腓型アミラーゼ(P-AMY)	設定なし	U/L		JSCC標準化対応法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		2023年8月8日より院内導入
尿中NAG (N-アセチルグルコサミニダーゼ)	0-10.9	U/L		MPT- NAG基質法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
ミオグロビン	設定なし	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	任意尿 蓄尿	U1管	不可	0.5	5	45分		当日のみ
IgG	設定なし	mg/dL		TIA法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
IgA	設定なし	mg/dL		TIA法	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
IgM	設定なし	mg/dL		TIA法	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
推定蛋白摂取量の算出	設定なし	mg/day		蓄尿BUN、 蓄尿量、体重より算出	蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		
推定1日食塩摂取量の算出	設定なし	g/day		任意尿Na Cre 身長、 体重、年齢より算出	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		

項 目 名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
【一般検査】												
定性一式＋沈査 AUTO					尿	黄スビッツ	不可	10	10	30分		
定性一式					尿	黄スビッツ	不可	10	10	15分		
比重	1.005－1.030		試験紙法									
pH	5.0～7.5											
糖	(-)											
蛋白	(-)											
潜血	(-)											
ケトン体	(-)											
ビリルビン	(-)											
ウロビリノーゲン	(+)											
亜硝酸塩	(-)											
尿沈渣					尿	黄スビッツ	不可	10	10	30分	一部項目	検査量未満の場合は 要相談 蓄尿では検査不可
赤血球	<5	毎視野HPF									×	
白血球	<5	毎視野HPF										
上皮											×	
円柱											×	
結晶											×	
細菌												
マルベリー小体					尿	黄スビッツ	不可	10	10	当日中	×	検査量未満の場合は 要相談 蓄尿では検査不可
気管支洗浄液一式		/μL %					不可			60分	×	
HCG定性 (ヒト胎盤絨毛性ゴナドトロピン)				金コロイド免疫クロマト法				3	3	15分		
尿中BTA(泌尿器外来専用)	(-)			ラテックス凝集法			不可	3	5	30分	×	
便潜血(免疫法)	0-99	ng/mL		ラテックス免疫比濁法			冷蔵			30分	×	冷蔵保存で7日間
	(-)											
精液検査 (スクリーニングは下記の全項目) (人工受精(AIH)は※項目のみ)					精液	PP遠沈管	不可	0.6 0.1※	0.6 0.1※	60分	×	2024年3月4日より方法 変更
精子濃度	16以上	10 ⁶ /mL	光学法(SQA-V)									WHO精液検査ラボラ トリーマニュアル第6版 (2021)に準拠
運動率	42以上	%										
正常形態率	4以上	%										
精液量 ※	1.4以上	mL										
運動精子濃度 ※	設定なし	10 ⁶ /mL										
平均精子速度 ※	設定なし	μ m/秒										
SMI ※	設定なし											
総精子数	39以上	10 ⁶ /精液中										
総運動精子数	設定なし	10 ⁶ /精液中										

項 目 名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
【血中薬物濃度】												
ティコブラニン(タゴシット)	10.0-30.0	μg/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
アルペカシン(ハベカシン)	ピーク9-20 トラフ<2.0	μg/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
バンコマイシン	10.0-20.0	μg/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分		
ゲンタマイシン	ピーク8.0-20.0 トラフ<1.0	μg/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分		
フェノバルビタール	10.0-25.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日まで
フェニトイン	10.0 - 20.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日まで
カルバマゼピン	4.0-12.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日まで
バルプロ酸	40.0-120.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
テオフィリン	5.0-20.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分		
ジゴキシン	0.5-2.0	ng/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日まで
メトレキサート	設定なし	μmol/l		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
シクロスポリン	設定なし	ng/mL		ACMIA法	EDTA全血	EDTA管	凍結	0.5	5	60分		
タクロリムス	設定なし	ng/mL		ACMIA法	EDTA全血	A管	凍結	0.5	5	60分		EDTA影響あり 2 mL厳守
リチウム(Li)	0.60-1.20	mmol/l	有	吸光光度法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分		
アセトアミノフェン	設定なし	μg/mL		酵素法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分		
エチルアルコール(血中)	0.0-3.0	mg/dL		酵素法	血清	C茶管	不可	0.5	5	60分		アルコール消毒禁止 開栓不可
ミコフェノール酸モフェチル	設定なし	μg/mL		改良型免疫阻害比濁法 (PETINIA法)	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分		
【迅速抗原検査】												
アデノウイルス抗原【結膜】	(-)			IC法	結膜ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
アデノウイルス抗原【咽頭】	(-)			IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
アデノウイルス抗原(IC法)【便】	(-)			IC法	便	滅菌スベツツ	凍結		適宜	30分	×	至急の場合要連絡 8501
アデノウイルス抗原【結膜】北里関係者	(-)			IC法	結膜ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
アデノウイルス抗原【咽頭】北里関係者	(-)			IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
アデノウイルス抗原(IC法)【便】北里関係者	(-)			IC法	便	滅菌スベツツ	凍結		適宜	30分	×	至急の場合要連絡 8501
ロタウイルス抗原【便】	(-)			IC法	便	滅菌スベツツ	凍結		適宜	30分	×	至急の場合要連絡 8501
インフルエンザウイルス抗原【鼻腔】	(-)			IC法	鼻腔ぬぐい	鼻腔用スワブ			適宜	30分		
インフルエンザウイルス抗原【咽頭】	(-)			IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
インフルエンザウイルス抗原【鼻腔】北里関係者	(-)			IC法	鼻腔ぬぐい	鼻腔用スワブ			適宜	30分		
インフルエンザウイルス抗原【咽頭】北里関係者	(-)			IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
RSウイルス抗原【鼻汁】	(-)			IC法	鼻汁ぬぐい	鼻腔用スワブ			適宜	30分		
RSウイルス抗原【喀痰】	(-)			IC法	喀痰	喀痰容器			適宜	30分		
尿中レジオネラ抗原	(-)			IC法	尿	滅菌スベツツ	凍結	0.5	5	30分	×	
尿中肺炎球菌夾膜抗原	(-)			IC法	尿	滅菌スベツツ	凍結	0.5	5	30分	×	
CDトキシシン	(-)			IC法	便	滅菌スベツツ	冷蔵	0.5	0.5	30分	×	至急の場合要連絡 8501
A群ベータ溶血連鎖球菌抗原【咽頭】	(-)			IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ	凍結		適宜	30分	×	
百日咳菌抗原【鼻咽頭】	(-)			IC法	鼻咽頭ぬぐい	鼻腔用スワブ	凍結		適宜	30分	×	2021年10月より開始
ヒトメタニューモウイルス抗原【鼻腔】	(-)			IC法	鼻腔ぬぐい	鼻腔用スワブ			適宜	30分		
肺炎球菌抗原【喀痰・咽頭】	(-)			IC法	喀痰 咽頭ぬぐい	滅菌容器 咽頭用スワブ	凍結		適宜	30分	×	
マイコプラズマ抗原【咽頭】	(-)			IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ	凍結		適宜	30分	×	
水痘・帯状疱疹ウイルス抗原【皮疹内容】	(-)			IC法	皮疹内容物ぬぐい	スポンジスワブ	冷蔵		適宜	30分	×	2018年10月より開始
単純ヘルペスウイルス抗原【性器・皮疹内容】	(-)			IC法	性器ぬぐい 皮疹内容物ぬぐい	スポンジスワブ	冷蔵		適宜	30分	×	2023年6月より開始

項 目 名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
【遺伝子・染色体】												
MAJOR BCR/ABL キメラRNA定性	(-)			RT-PCR法	EDTA血液	EDTA管	不可	5	5	1～2日	×	採血量厳守、直ぐ提出 預かり不可だが全血冷蔵 保存
MINOR BCR/ABLキメラRNA定性	(-)			RT-PCR法	EDTA血液	EDTA管	不可	5	5	1～2日	×	採血量厳守、直ぐ提出 預かり不可だが全血冷蔵 保存
PML/RARa-1キメラ RNA (15:21)定性	(-)			RT-PCR法	EDTA血液	EDTA管	不可	5	5	1～2日	×	採血量厳守、直ぐ提出 預かり不可だが全血冷蔵 保存
MAJOR BCR/ABL キメラRNA定性	(-)			RT-PCR法	骨髓穿刺液	A管	不可	0.5	2	1～2日	×	採血量厳守、直ぐ提出 預かり不可だが全血冷蔵 保存
MINOR BCR/ABLキメラRNA定性	(-)			RT-PCR法	骨髓穿刺液	A管	不可	0.5	2	1～2日	×	採血量厳守、直ぐ提出 預かり不可だが全血冷蔵 保存
PML/RARa-1キメラ RNA (15:21)定性	(-)			RT-PCR法	骨髓穿刺液	A管	不可	0.5	2	1～2日	×	採血量厳守、直ぐ提出 預かり不可だが全血冷蔵 保存
minor BCR/ABL mRNA定量	設定なし			RT-PCR法	骨髓穿刺液	A管	不可	0.5	2	1～2日	×	採血量厳守、直ぐ提出 預かり不可だが全血冷蔵 保存
Leber DNA				Direct sequence MGB-Probe	血液	EDTA管	不可		5	4～6日	×	
SARS-Cov-2 PCR	(-)			RT-PCR法	唾液	滅菌容器	凍結	1	1	1日	×	採取イントラネット参照
SARS-Cov-2 PCR	(-)			RT-PCR法	鼻咽頭ぬぐい	鼻腔用スワブ ⁺ +滅菌生食 1mL	凍結	1	1	1日	×	採取イントラネット参照
FilmArray髄膜炎・脳炎パネル	(-)			マイクロアレイ法	髄液	滅菌スピッツ	凍結	0.6	0.6	2時間	×	残検体での検査不可 平日15時まで受付、以降 は翌平日まで預かり 2023年4月17日より開始
HLA DNA Typing献腎(A,B,DR)				PCR－SSP	血液	EDTA管	不可	5	5	2～3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
HLA DNA Typing生体レシピエント(A,B,DR)				PCR－SSP	血液	EDTA管	不可	5	5	2～3日	残 検 体	必ず事前連絡、 時間内提出
HLA DNA Typing生体ドナー(A,B,DR)				PCR－SSP	血液	EDTA管	不可	5	5	2～3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
HLA DNA TypingDQ				PCR－SSP	血液	EDTA管	不可	5	5	2～3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
リンパ球クロスマッチ レシピエント				FCM	血液	C茶管	不可	3	5	2～3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
リンパ球クロスマッチ ドナー(C茶管＋H管)				FCM	血液	H管 C茶管	不可	15 3	15 3	2～3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
先天性疾患染色体G-Band【末梢血】	設定なし			G-Band法	末梢血	H管	不可	1	5	2～3週間	×	採血困難な場合は ヘパリン加シリンジにて提出。 凝固しないようよく混和
先天性疾患染色体G-Band【臍帯血】	設定なし			G-Band法	臍帯血	ヘパリンシリンジ	不可	1	5	2～3週間	×	ヘパリン加シリンジにて提出。 凝固しないようよく混和
先天性疾患染色体G-Band【絨毛】	設定なし			G-Band法	絨毛	専用容器	不可	適宜	適宜	1ヶ月	×	専用容器は検査室へ 気送管禁止、直接検査室へ
先天性疾患染色体G-Band【組織】	設定なし			G-Band法	組織	専用容器	不可	適宜	適宜	1ヶ月	×	専用容器は検査室へ 気送管禁止、直接検査室へ
出生前染色体G-Band【羊水】	設定なし			G-Band法	羊水	専用容器	不可	15	15	3週間	×	著しい血液混入はヘパリン 添加。 気送管禁止、直接検査室へ

項 目 名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保 存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
【輸血】												
CD34	設定なし	/μL		フローサイトメトリー法	EDTA血液	A管	不可		2	1～2時間	×	輸血センターに予約
輸血検査(交差試験・不規則抗体検査)	陰性 陰性 陰性			カラム凝集法 間接抗グロブリン法 酵素法(フィシン法)	血漿・血球 血清	輸血検査用・ C茶管	遠心後 冷蔵	7 4	7 4	40分		血液型検査と輸血検査 (交差適合試験・不規則抗体)は、異なる時点での採血をしてください。 残検体での検査不可
ABO・Rh(D)血液型				カラム凝集法	血漿 血 球	EDTA管	遠心後 冷蔵	5	5	20分		血液型検査と輸血検査 (交差適合試験・不規則抗体)は、異なる時点での採血をしてください。 残検体での検査不可 生後4ヶ月以内はABOオモテ検査のみ(ABOウラ未実施)で報告。
臍帯血ABO・Rh(D)血液型				カラム凝集法	血漿 血 球	EDTA管	遠心後 冷蔵	5	5	20分		血液型検査と輸血検査 (交差適合試験・不規則抗体)は、異なる時点での採血をしてください。 残検体での検査不可
直接クームス試験	陰性 O O			カラム凝集法	血漿 血 球	EDTA管	遠心後 冷蔵	5	5	20分		室温保存で速やかに提出
臍帯血直接クームス試験	陰性 O O			カラム凝集法	血漿 血 球	EDTA管	遠心後 冷蔵	5	5	20分		
間接クームス試験	陰性 O			カラム凝集法	血漿 血 球	EDTA管	遠心後 冷蔵	5	5	30分		
間接クームス試験(輸血予定患者用)	陰性 O O			カラム凝集法 間接抗グロブリン法 酵素法(フィシン法)	血漿 血 球	EDTA管	遠心後 冷蔵	5	5	40分		
臍帯血間接クームス試験	陰性 O			カラム凝集法	血漿 血 球	EDTA管	遠心後 冷蔵	5	5	30分		
抗体価測定(母児不適合妊娠)				試験管法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血漿 血 球	EDTA管	遠心後 冷蔵	5	5	1～2日	×	事前に電話にて予約
臍帯血抗体価測定(母児不適合妊娠)				試験管法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血漿 血 球	EDTA管	遠心後 冷蔵	5		1～2日	×	事前に電話にて予約
腎移植用抗A抗体価測定				カラム凝集法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血清	C茶管	冷蔵	6	6	1～2日	×	事前に電話にて予約
腎移植用抗B抗体価測定				カラム凝集法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血清	C茶管	冷蔵	6	6	1～2日	×	事前に電話にて予約
抗A抗体価測定				カラム凝集法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血清	C茶管	冷蔵	6	6	1～2日	×	事前に電話にて予約
抗B抗体価測定				カラム凝集法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血清	C茶管	冷蔵	6	6	1～2日	×	事前に電話にて予約
輸血前感染症検査					血清	C茶管	冷蔵	6	6		×	
輸血後感染症検査(輸血後2～3ヵ月後に実施)					血清	C茶管	冷蔵	6	6		×	
【微生物】												
細菌【呼吸器系由来】				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	喀痰	喀痰容器	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	鼻腔	シード・スワブ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	口腔	シード・スワブ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	歯肉	シード・スワブ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	舌苔	シード・スワブ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	咽頭	シード・スワブ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	気管内吸引物	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	気管支洗浄	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	呼吸系分泌物	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意

項 目 名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保 存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
細菌【消化器系由来】				培養同定・薬剤感受性	便	細菌便容器	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	胃液	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	十二指腸液	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	胆汁	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	膵液	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	大腸	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	消化器系 カチップ	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
細菌【血液穿刺液】				培養同定・薬剤感受性	血液	カルチャーボトル	室温			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	穿刺液	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	髄液	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	胸水	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	腹水	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	関節液	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	心嚢液	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	骨髓穿刺液	ヘパリン添加	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	羊水	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	前房水	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	水泡内容物	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	腫瘍内容液	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	血液カテ	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	穿刺カテ	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
細菌【皮膚糸状菌検索】				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	皮膚	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	組織	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	爪	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	鱗屑	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	毛髪	滅菌スピッツ	冷蔵			3～7日	×	検体の漏れ、汚染に注意

項 目 名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保 存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
細菌 【泌尿生殖器由来】				培養同定・薬剤感受性塗抹検査	尿	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹検査	膀胱穿刺液	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹検査	尿道分泌物	シード スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹検査	陰分泌物	シード スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹検査	頸管内容	シード スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹検査	腔内容	シード スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹検査	子宮内用	シード スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹検査	胎盤	シード スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹検査	外陰部	シード スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	泌尿生殖器系 カテーテル	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
細菌 【その他】				培養同定・薬剤感受性塗抹	膿	シード スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	浸出液	シード スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	PD排液	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	ドレーン	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	皮膚	シード スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	眼脂	シード スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	耳漏	シード スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	扁桃	シード スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	リンパ節	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	組織	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	骨	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	爪	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	鱗屑	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	毛髪	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	角膜	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	肺臓	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	腎臓	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	臍	シード スワブ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性塗抹	その他	滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
細菌 【骨バンク専用】				培養同定		滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定		滅菌スピッ ツ	冷蔵			3～7 日	×	検体の漏れ、汚染に注意

項 目 名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保 存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
抗酸菌 【呼吸器系由来】				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	喀痰	喀痰容器	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	咽頭	シード・スワブ	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)・PCR	胃液	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹	気管支挿過	スライト・ガラス	冷蔵			1～2日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	気管内吸引物	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	気管支洗浄	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	呼吸系がチップ	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
抗酸菌 【消化器系由来】				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	便	滅菌容器	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	大腸	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
抗酸菌 【泌尿生殖器由来】				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	尿	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	尿道分泌物	シード・スワブ	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	陰分泌物	シード・スワブ	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	膀胱洗浄液	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
抗酸菌 【血液穿刺液】				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)・PCR	血液 (PCR)	EDTA管	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
					血液 (培養)	ヘパリン管	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	穿刺液	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	髄液	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	胸水	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	腹水	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	関節液	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	心嚢液	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	骨髄穿刺液	ヘパリン添加	冷蔵			1～2ヶ月	×	PCRはEDTA管、培養はヘパリン
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	水泡内容物	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	腫瘍内容液	滅菌スピリット	冷蔵			1～2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意

項 目 名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保 存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
抗酸菌 【その他】				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	膿	シード スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	浸出液	シード スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	皮膚	シード スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	耳漏	シード スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	扁桃	シード スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	リンパ節	滅菌スピン ツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	組織	滅菌スピン ツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) 塗抹	骨	滅菌スピン ツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) 塗抹	骨髓	滅菌スピン ツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	肺臓	滅菌スピン ツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) 塗抹	脾臓	滅菌スピン ツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) 塗抹	肝臓	滅菌スピン ツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	腎臓	滅菌スピン ツ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	その他	滅菌容器	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意

JCCLS共用基準範囲
 試薬添付文書
 基準範囲根拠：臨床検査提要第35版
 学会推奨値など
 詳細は各手順書参照